

● 会誌 41 号 仲間の広場 20 周年記念 里山の会と私 寄稿呼びかけに答えて メールで寄稿届く
 今回の会誌発行で最もプレッシャーがかかるのは原稿の集まりです。なるようになるさと腹をくくり成り行きに任せる気楽な開き直りではいけないと、強く感じています。結成 20 周年にあたって、特集「里山の会と私」に寄稿いただく皆さんが、里山の会をどれほど大切にしておられるのか、里山の会が果たしている役割が非常に大きいものであることを、思い思いに語っていただいているからです。今回のこの取り組みは全ての会員さんからご寄稿いただけるまで徹底して企画を続けるべきだと思います。これまでわたくしたちはイベントの開催、観察や調査の開催にあたっては、常に何か新しい知識を得られるようにと工夫を凝らしてきました。これで何とかよかった、天気も良かった、大勢の参加があったからと大いに自己満足していました。実はここに本当の目的があったのではなく、その外に新しい友人や、知らない人との交流やつながりが生まれる、そして継続していく、その上に組織として発展向上を目指しているのだと気づかされました。この 18 年間里山の会で活動続けてきたけれど、この場所を得られていなかったら、この 18 年どのような道を歩んでいのであろうかと、自問自答された一言に感銘を受けました。会誌 41 号をお楽しみにしてください。

● 会誌 41 号 活動報告の編集の改善 写真中心に 思い切った方針変更

30 イベントを取り上げる。20 年間活動報告の編集方針を一貫して継続してきました。この編集方針のねらいはイベントの開催にあたってなぜ開催するのか開催の目的を明確に設定できているのか、得てしてこの点が深めることなく進行する傾向に陥っていたように思います。こうした反省点を生かしてさらに向上目指そうという前進力が弱くなっているように見えます。新しい節目に 41 号からは事業の推進力としての位置づけから、読者の皆さんに見て楽しい会誌を送るのがいいのではないかと考えて、できる限り写真を中心にした試みとしてみました。手持ちの写真のみで、従来方針に基づく撮影の構えだったので、従来の域を抜け出せていないのですが、趣旨をくみ取っていただいて、感想をお寄せください。心からお待ちしています。

● 9 月 25 日も開催を決める 9 月 11 日の府営団地「朝市」で府営団地連合自治会の執行役員が欠員で買い物のお客さんと出店者の話し合いで次回 25 日の朝市の開催を決める 最初に朝市を提起した連合自治会による主導があつて月に一回の開催を実行してきました。最近では安さと新鮮さと顔見知りが多くなって、月二回の開催も試みられてきました。まさに売り手と買い手が一緒になって、朝市を継続発展させてきました。今回役員は研修会にごっそり出席されるので手薄になるから、定例開催であるが、休止と打ち出しておられました。ところが買い手側から開催要望の声が高く、自主的に開催を決定しました。大きな主導的な役割がなくても自主的に自らが開催を決定するようにまで成長したということは、本当に素晴らしいと思います。さらなる発展に期待します。

● 草刈り機(刈払い機)の取り扱い講習会実施 開催日時 25 日(日) 時間午前 10 時～12 時 里山農園
 前号でご案内しましたが草刈り機の使い方の講習会を行います。そして里山農園の草刈りを行います。ぜひ多くの皆さんのご参加をお待ちしています。問い合わせがありました。24 日 25 日両日とも 10 時と 12 時 30 分と 15 時となっているのは、ご参加いただく皆さん配慮して 3 回合計 6 回講習会を開催し、できるだけご参加のチャンスを数多く設定したもので、お越しいただけた人数で実施するとしています。申込制をとっているものではありません。随意にお越しください。お待ちしております。30 分の講習会と 60 分の草刈り実習を予定しています。積極的に作業にご協力いただける方、大歓迎です。

● 新米の購入受付 始まる ヒノヒカリ 昨年と同価格 大至急申し込を 数量に限定あり
 これまで多くの皆さんにこの時期新米の提供をさせていただいてきました。今年からイノシシの被害と世話役の山本様の高齢化によって稲作作業が継続が難しくなりました。長年秋には新米をお届けしてまいりましたので、ご期待されているのではないかと思います。新米の提供を受付することにいたしました。ご希望があれば申し出てください。ご協力いただける農家さんもございますので、遠慮なくご連絡くださ

い。里山の会事務所又は大村さんまで電話ください。

● **第34回京都木津川マラソン大会第2回実行委員会 予算案決定** 第34回京都木津川マラソン大会は2017年2月5日(日)開催と決まり、第2回実行委員会が開催されました。大会の中心の役割を支えてきた手話サークルやましろネットワークが協力辞退となって、その補充補強体制の確立対策と予算案が決定され、5000人の参加者の募集が10月1日からの開始も決定され、いよいよ取り組みが始まります。マラソンの熱気も盛り上がり、昨年同様短期間で満員になる様子です。お忘れなくご準備を整えてください。なお制限時間のない全国屈指の大会ですので、日没後のランナーへの支援隊背として「星のランナーサポート隊」を組んで完走支援ボランティアの募集も開始しています。大会運営のボランティア750人の確保にもご協力をお願いしています。里山の会は主力団体の一つとして60人体制をとっています。

● **事務局会議への出席可能者 大歓迎** 事務局会への出席は会員なら資格は問いません 植物に関心あるかた 昆虫に関心あるかた 魚に関心あるかた 農園作業に関心あるかた、ご参加ください。毎週水曜日午前9時30分から終了12時で、場所は里山の会事務所です。一週間の振り返りとこれからのイベントについて相談します。気楽にご参加ください。新しい知恵とヒントが必要です。あなたのご参加をお待ちしています。

● **自然を大切に作る仲間を求めています。** 会員が主人公…何か活動したいと希望されている方あなたの希望を実現しましょう ご参加ください。

● **木津川堤防の抜草作業実施** 21日の事務局会議の後、13時30分からタヌキマメの生育地にセイバンモロコシが勢いよく繁茂が始まりました。このままではせっかく復活したタヌキマメが来年には生育できる可能性があったので、緊急対策として刈り取り作業を行いました。午後からあいにく小雨が降り出し、すっかり濡れてしまいました。深田、播川、青代、山村の4名が30分の予定を超えて約1時間頑張ってくださいました。ご苦労様でした。



会員全員集合してください

里山農園 総行動の日

日時 9月24・25日(日)

午前の組	集合 10 時 00 分
午後の組	集合 12 時 30 分
午後の組	集合 15 時 00 分
作業内容	草刈りの講習会 (鎌と刈り払機) 30 分
指 導	専業農家 井辻三弘氏 (天王) 草刈り作業 約 60 分 草刈り 15 分間 整理整頓
持ち物	鎌 手袋 帽子 長袖長ズボン 作業靴 (長靴) 手拭
駐車場	有ります
自走草刈機	取扱い説明 実習経験 15 分 (希望者)

里山農園とその周辺の整理整頓をみんなで行います